

- (1) 本競技会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて実施する。
- (2) 大会主催者は、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
- (3) ウイルス性の感染症等や悪天候を含む、競技会の運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生、または発生する恐れがある場合は、主催者は必要に応じて大会中止、一部中止、日程変更、試技回数等を含む競技会の内容を変更することがある。
- (4) 感染症拡大防止の為、競技会開始前の受付は、審判員のみとし、競技者は、会場に到着するとロビーで体調チェックシートを提出し、リストバンドをもらって入場する、以後はリストバンドを見せて再入場もできる。招集は、リストバンドを見せ、トラック種目は雨天練習場、フィールドは現地に集合し、コールを完了させること。
- (5) 「密」を防ぐためできるだけ個人で行動し、**競技時間に合わせ来場し、競技終了後は早めに退場**すること。
- (6) 「密」を避けるため、競技結果の貼り出しは行わず、結果確定後ただちにアスリートランキング(HP)で公表する。
- (7) 招集時間については、以下の通りとし、遅れた場合は、棄権とみなし競技できない。また競技者系の指示に従うこと。**招集場所は、トラック競技は、雨天練習場、フィールド競技は現地とする。**

トラック競技		フィールド競技	
招集開始 (点呼開始)	招集完了 (移動時刻)	現地招集開始 (点呼開始)	現地招集完了
30 分前	20 分前	40 分前 PVは60分前	30 分前 PVは50分前

- (8) 用器具は、主催者が準備した物を使用するが、投擲器具及び棒高跳びポールは各自用意した物で競技開始前に検定を受け使用許可が出た物のみ使用できる。
- (9) アスリートビブスは、各自の登録登録番号(令和4年度)を既定の大きさと作成した物を胸背部に付けること。(中学生は学校名・クラブ名でよい。)走高跳、棒高跳、走幅跳はどちらか一方で可。
- (10) 競技中の傷害については、主催者は応急処置のみとする。
(大会側も保険に入るが、各個人や参加団体で加入していることが望ましい。)
- (11) 競技に使用するシューズは、日本陸上競技連盟の規定に準ずる。スパイクシューズは、全天候舗装用を使用し、ピンの長さは、競技場既定の長さとし、形状とする。
- (12) 主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づいて取り扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成会議及び作成記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。
- (13) 会場にお越しの皆様にお車の駐車場のお願いとして、運動公園の駐車場以外(緑地帯並びに道路の脇)への駐車は指定管理の方から厳重に注意勧告を受けているので、駐車場以外への駐車は行わないこと。
- (14) **大会中止の条件**
 - ① 新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言を含む中止をせざるを得ない対策が発令された場合。
 - ② 記録会当日、午前6時の時点で東広島市に「大雨警報・洪水警報・暴風警報」のうち1つでも発表されている場合。
 - ③ 記録会前日午後5時以降から開始までに東広島市に「震度5弱以上の地震」が発生した場合。
 - ④ 豪雨被害で会場が使用できない場合
- (15) ウォーミングアップは、多目的グラウンド及び陸上競技場周辺で気をつけてアップをすること。開場7時30分から8時45分までは競技場内を使用することができる。
- (16) **新型コロナウイルス感染防止について**
 - ① 本大会は、日本陸連「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に沿って競技会運営を行う。ガイダンス最新版は、日本陸連ホームページに掲載されているので、大会参加者は必ず事前に確認し感染症対策を徹底したうえで参加すること。
 - ② 大会1週間前～前日までの事前の取り組み、及び大会後2週間、以下が必要である。
競技者・大会役員・審判員・観客=JAAF 体調管理チェックシート(東広島版)
 - ③ 本大会の**観戦**について 本大会は、安心・安全な大会実施を基本として運営を進めるため次の通りとする。応援の際は、密を避け、応援は拍手が望ましい。**観客**も選手と同じ体調管理チェックシートを提示された方には、リストバンドを渡すので、正面スタンド及びサイド及びバックの芝生スタンドに入場することができる。競技者は競技以外、応援者は常にマスクを着用するものとする。
- (17) 2種目に同時に出場する選手は、フィールドの現地審判員と必ず連携をとりトラック種目に参加すること。競技規則によりフィールド種目を進行する。